

中期経営計画説明会

2006年3月30日

株式会社ニコン

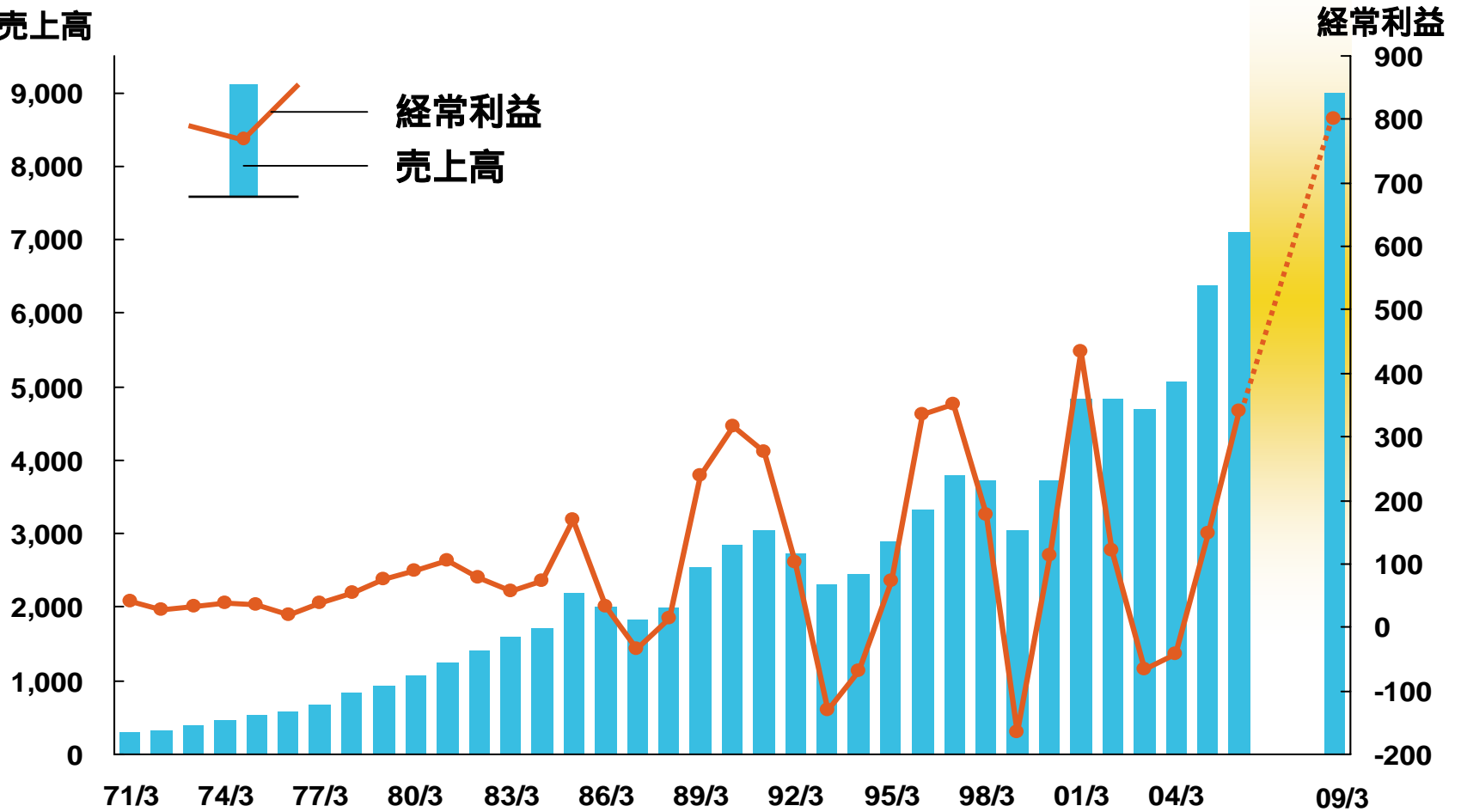
本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

Agenda

- ・ **中期経営計画の概要**
- ・ カンパニー別経営計画
- ・ まとめ

業績の推移

単位: 億円
売上高

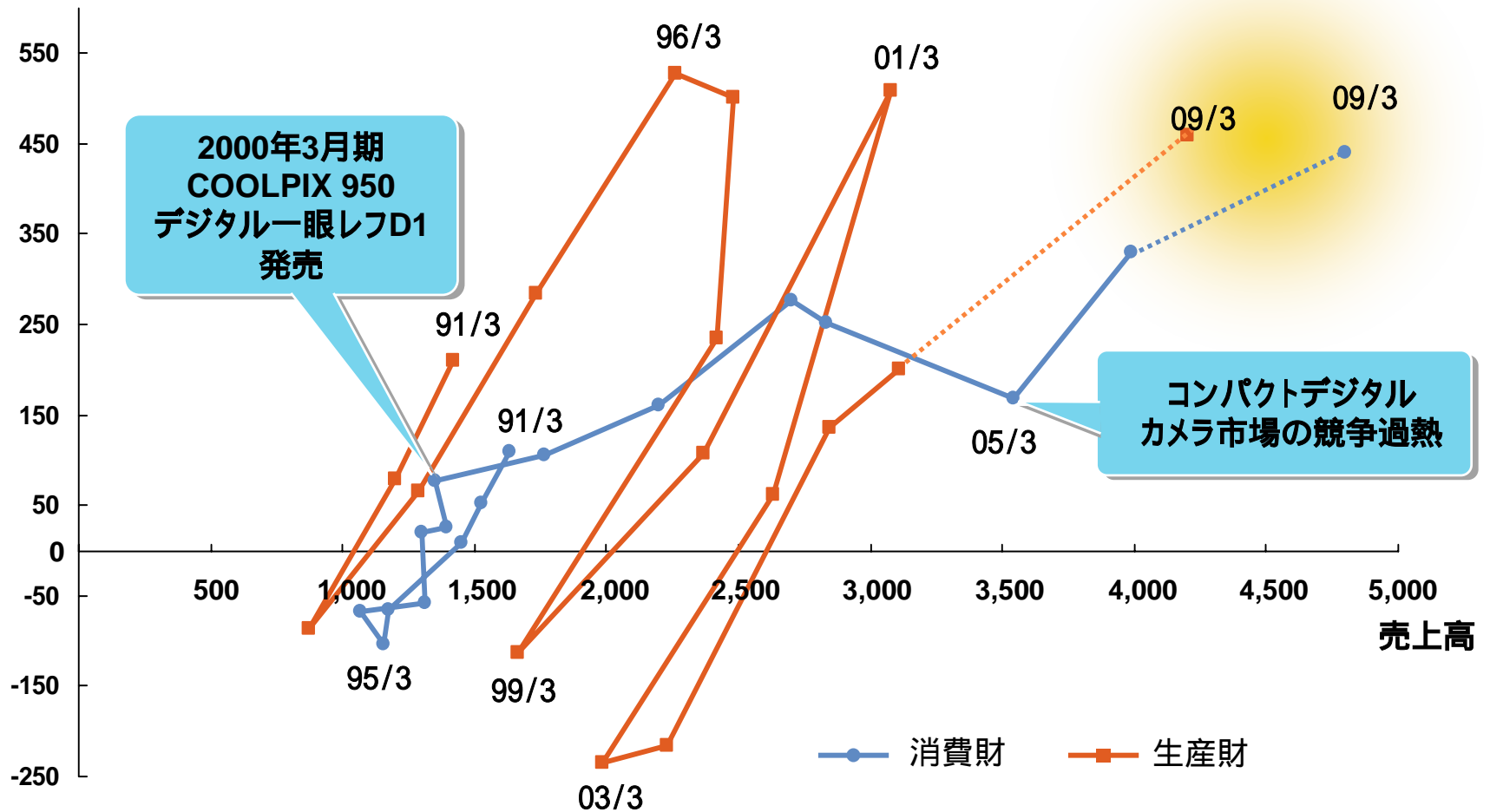


* 1970年度～1976年度は単体における売上高、経常利益です。
1977年度以降はすべて連結における数値です。

業績の推移

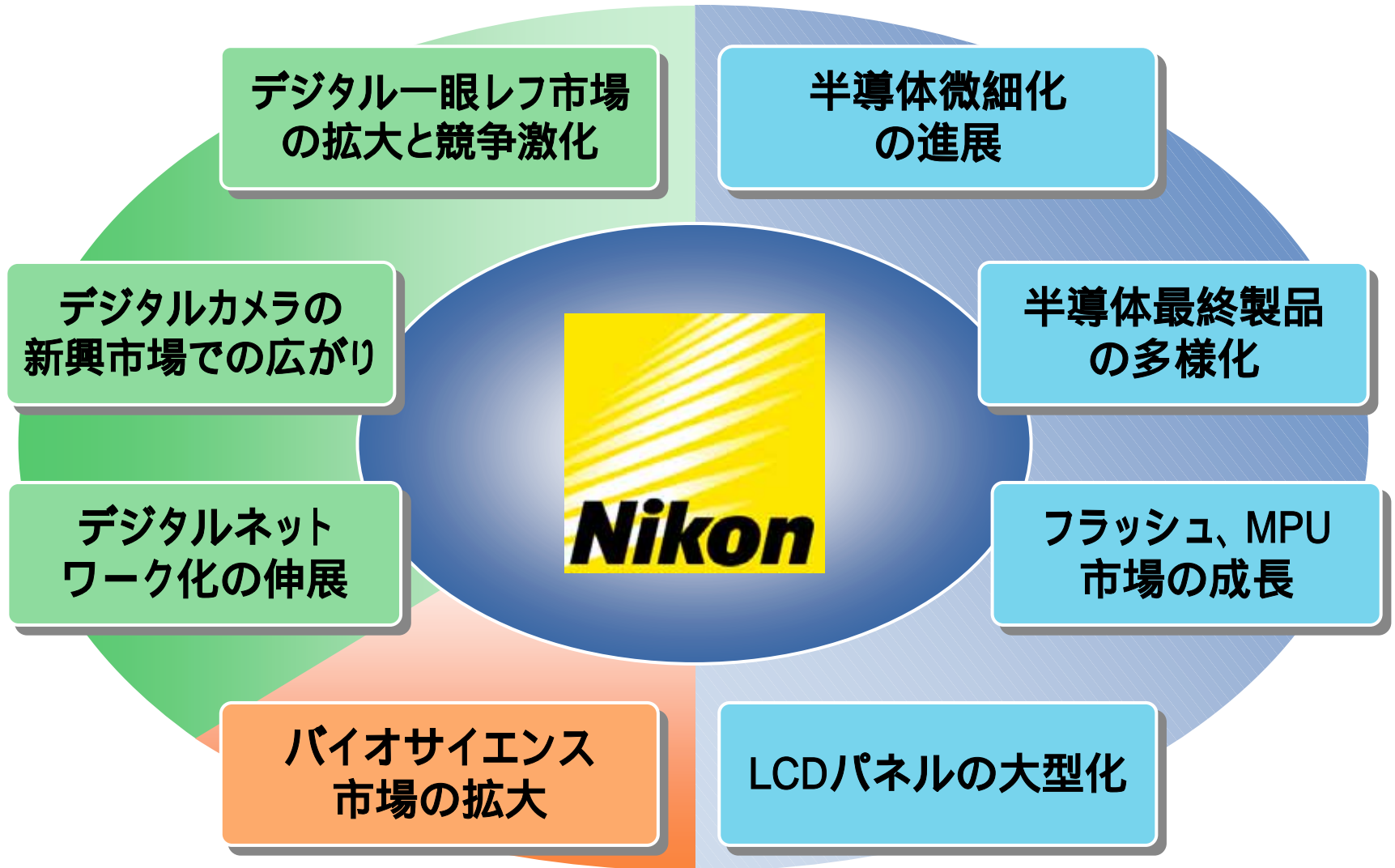
営業利益

単位: 億円

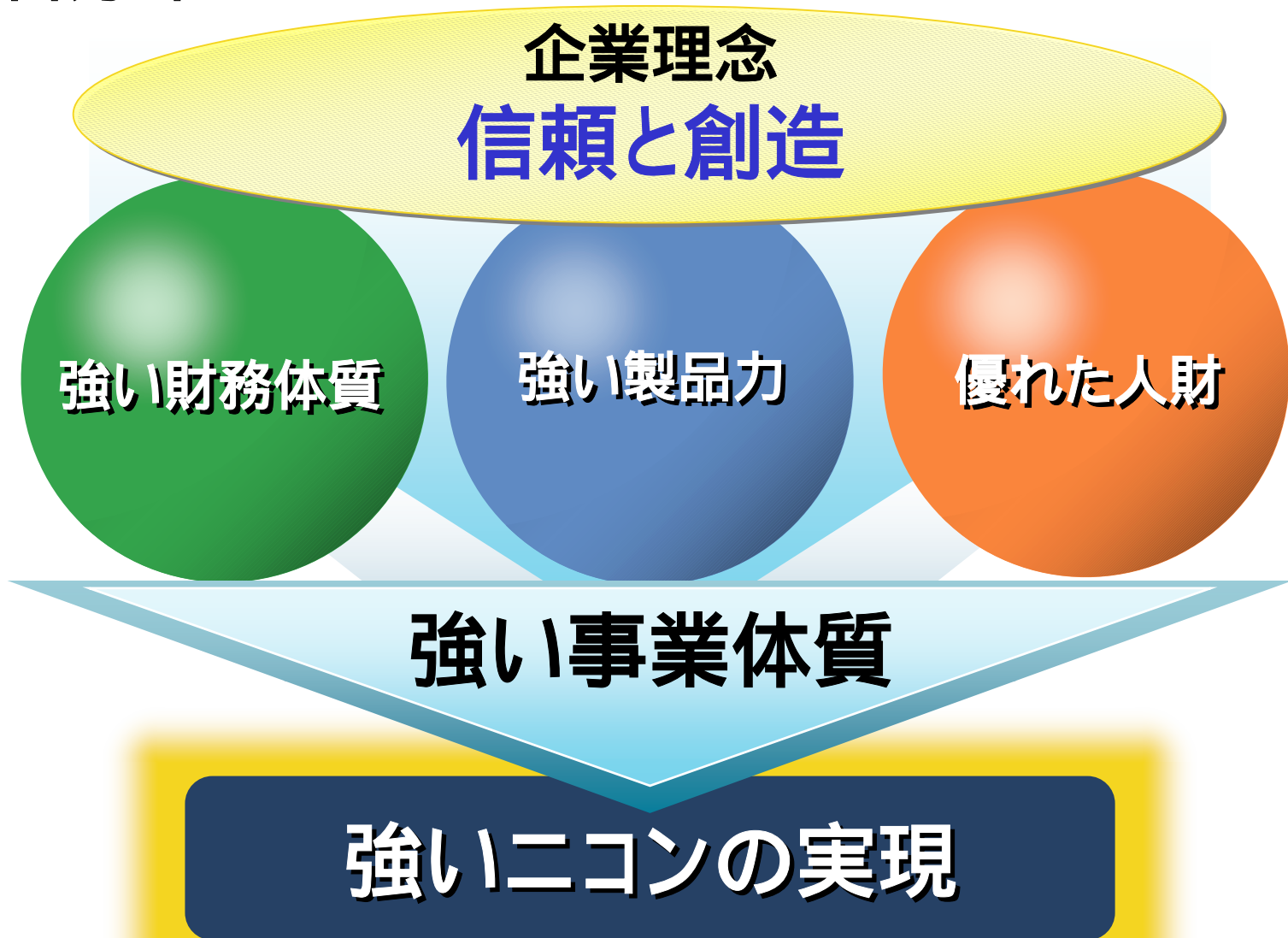


* 2000/3以降は、映像Cは消費財に精機C、インストC、その他を生産財として集計しております。

当社を取り巻く事業環境



経営方針



重点施策

「強いニコン」の実現のために

主力事業の競争力強化

新規事業の創出・育成

ものづくりの強化

財務体質の改善

透明性の高いICSR重視の経営

自由闊達な企業風土の醸成

連結目標数値

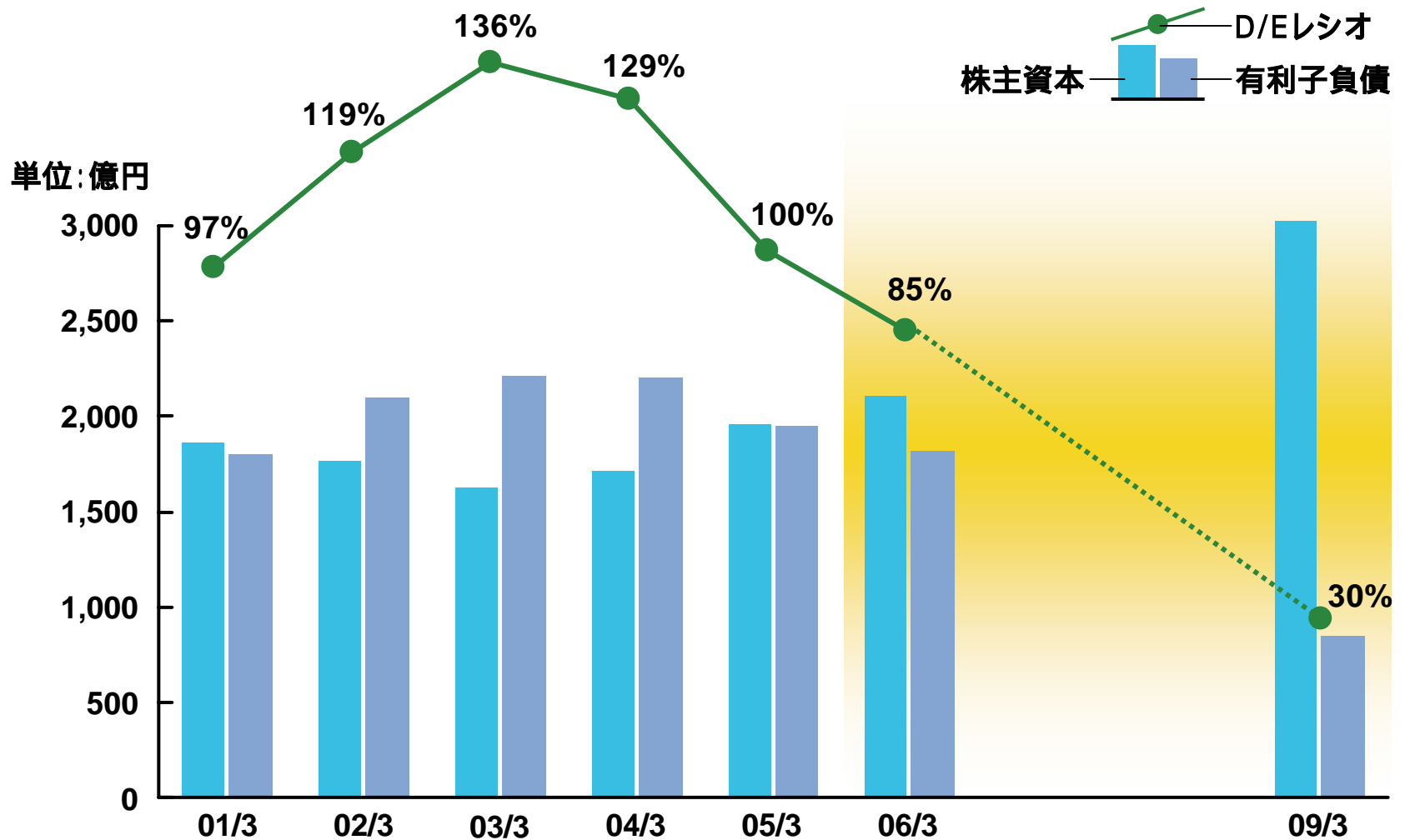
09年3月期 営業利益率10%

	06年3月期	09年3月期
売上高	7,100億円	9,000億円
営業利益	530億円	900億円
経常利益	340億円	800億円
D/Eレシオ	85%	30%以下

* 06年3月期の数値は2006年2月6日公表時の数値です。

D/Eレシオ推移

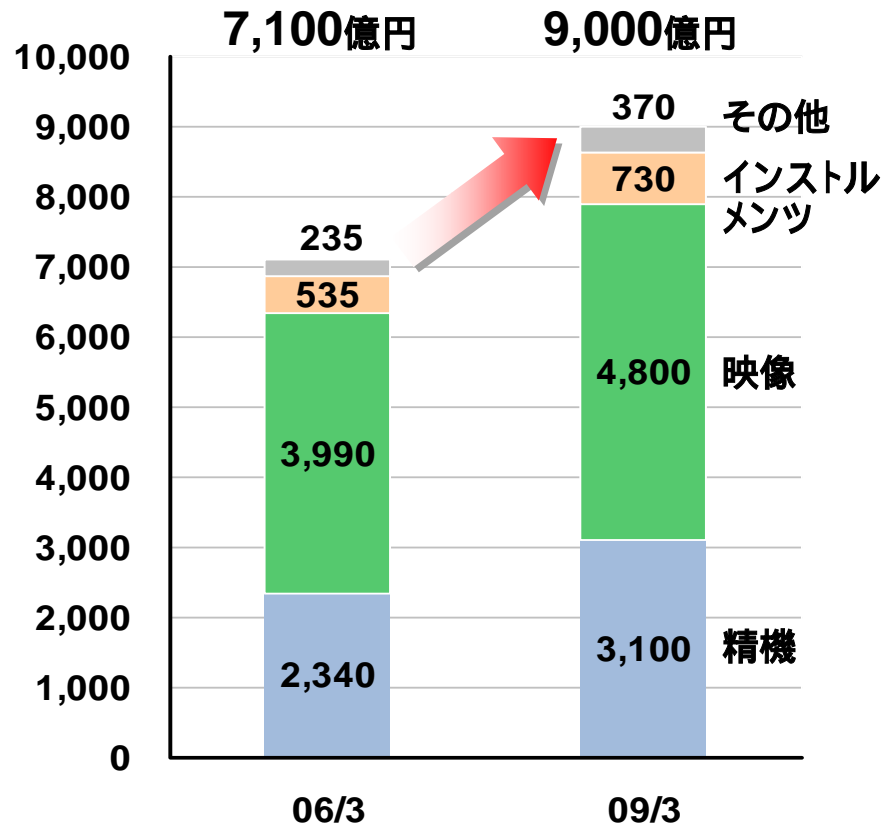
財務体質の健全化



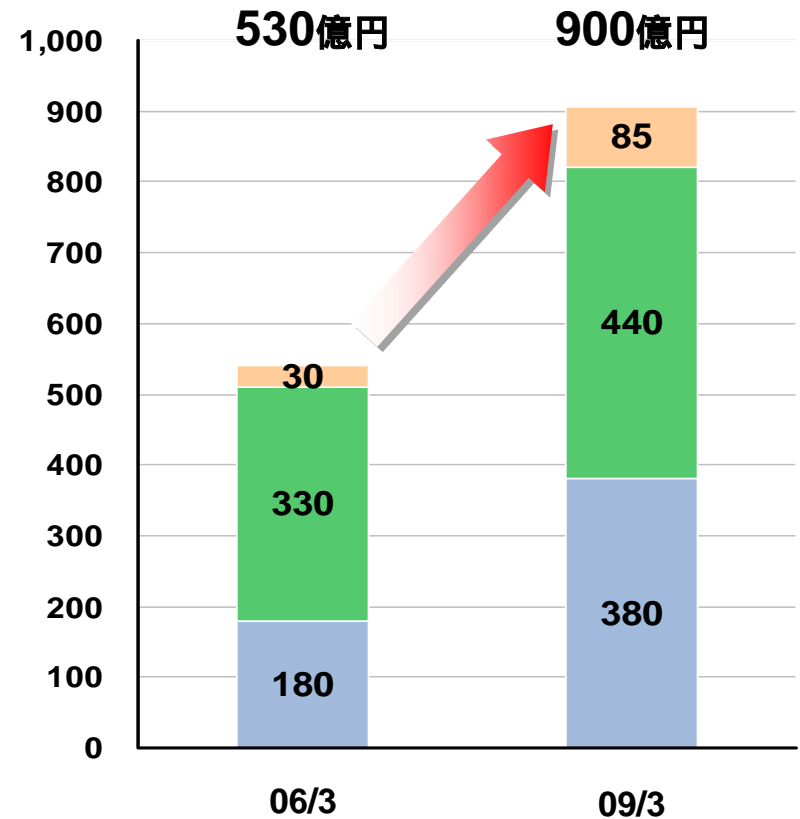
カンパニー別経営目標

09年3月期 営業利益率10%

売上高

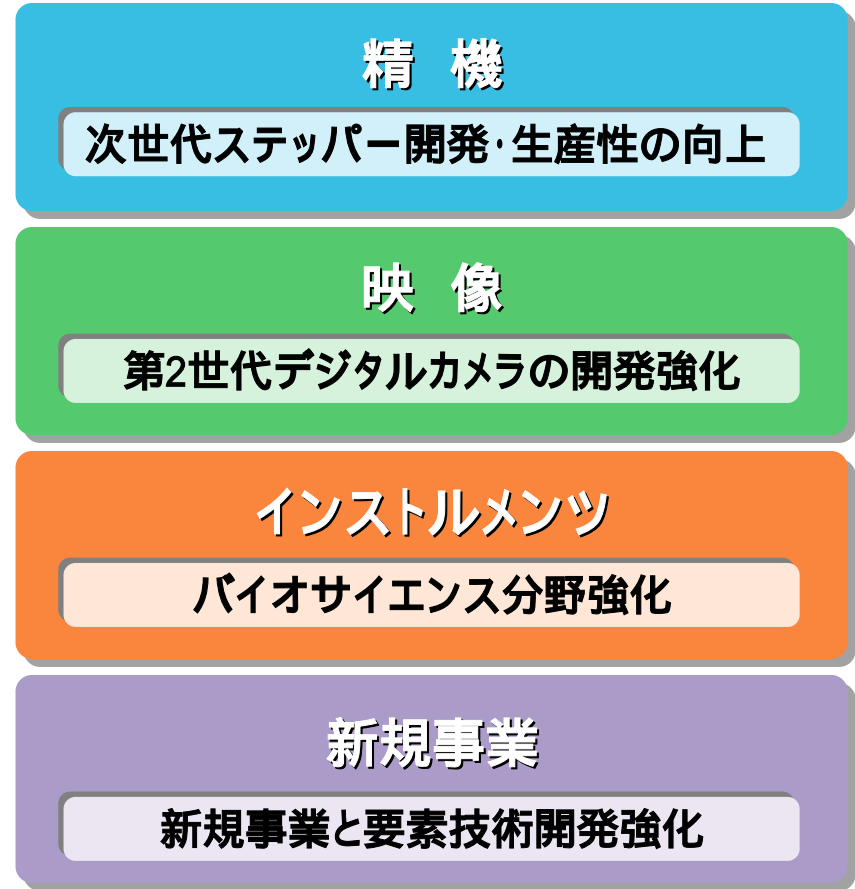
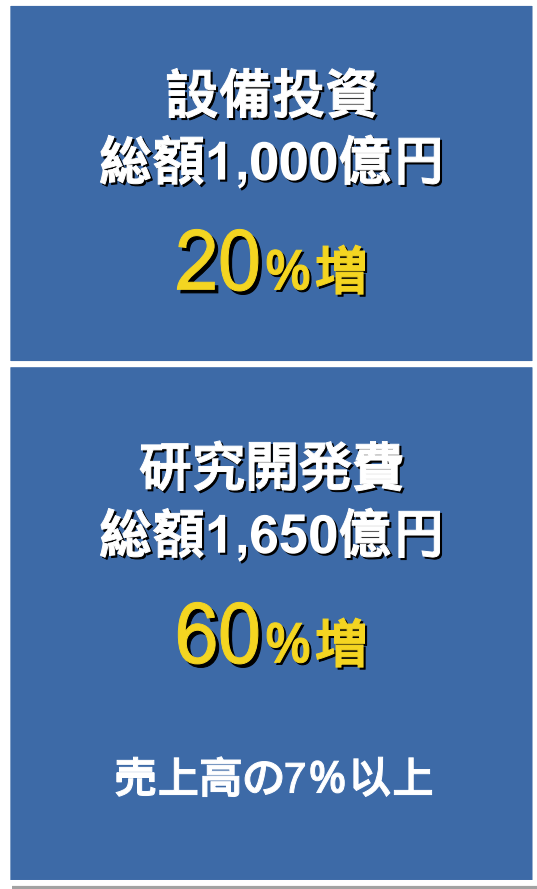


営業利益



設備投資・研究開発計画(3年間累計)

将来の成長のため投資を拡大



Agenda

- ・ 中期経営計画の概要
- ・ **カンパニー別経営計画**
- ・ まとめ

精機カンパニー

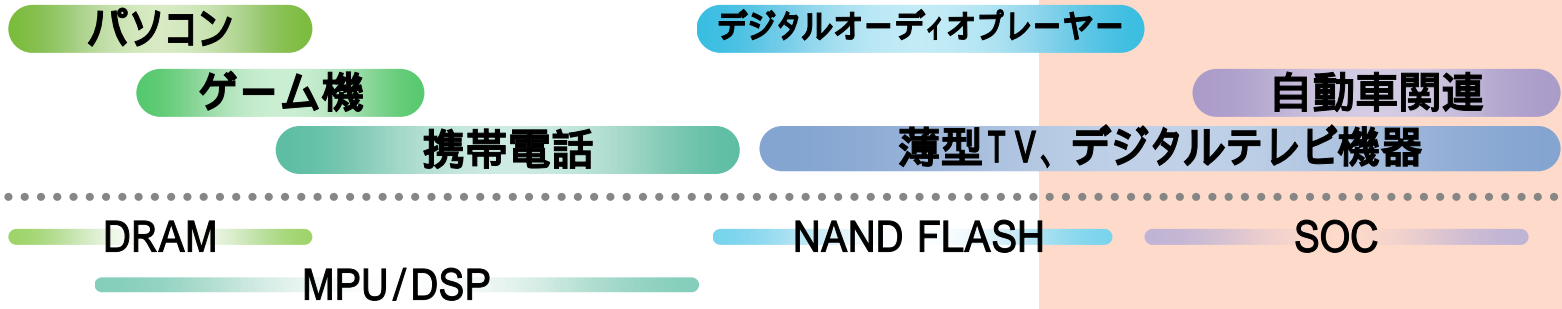
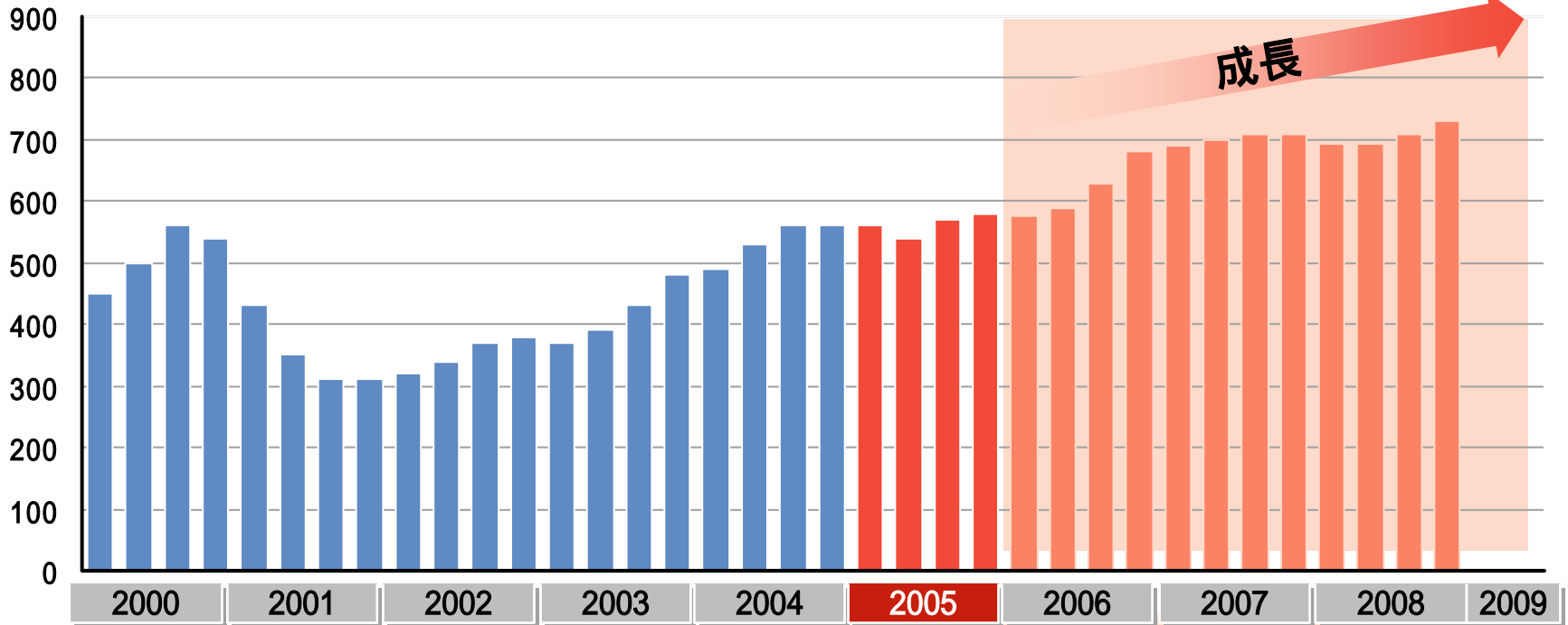
液浸を含むArFシェアNo.1
大型LCD用シェアNo.1



成長し続ける半導体市場

半導体最終製品の多様化により半導体市場は継続的成長

単位:億ドル



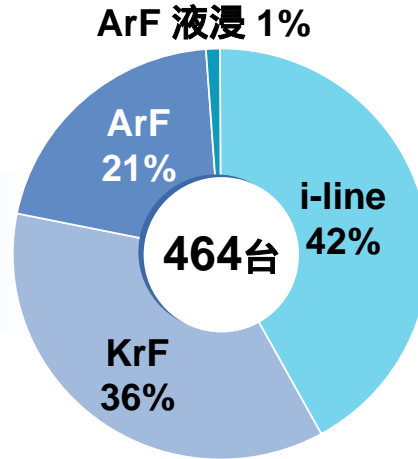
【ニコン予測】

半導体露光装置 見通し

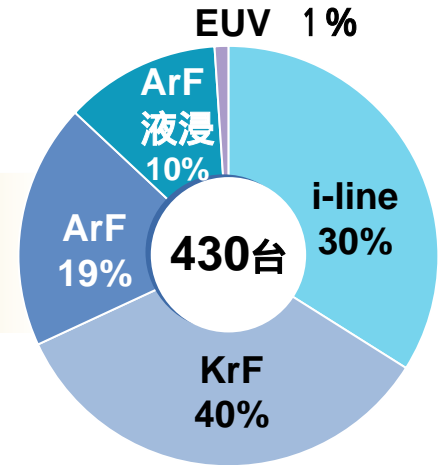
最先端(液浸を含むArF)でNo.1!

市場規模(暦年)
【ニコン予測】

2005年
4,400億円

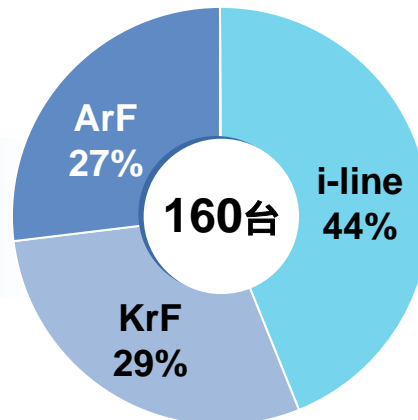


2008年
5,400億円

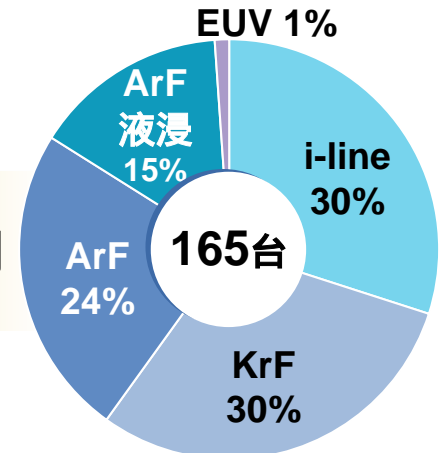


当社見通し

06年3月期



09年3月期

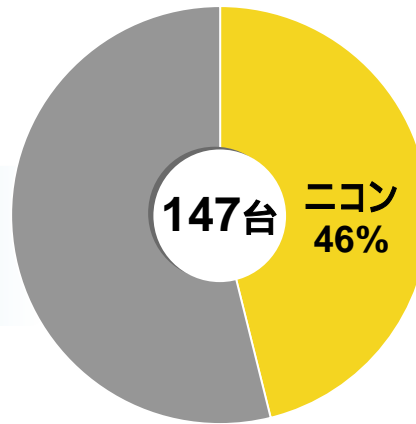


LCD露光装置 見通し

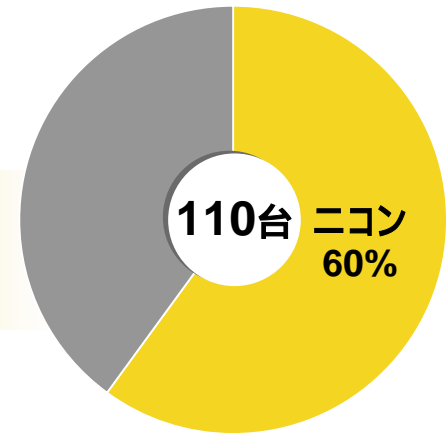
大型LCD用でNo.1!

市場規模(暦年)
【ニコン予測】

2005年
1,200億円



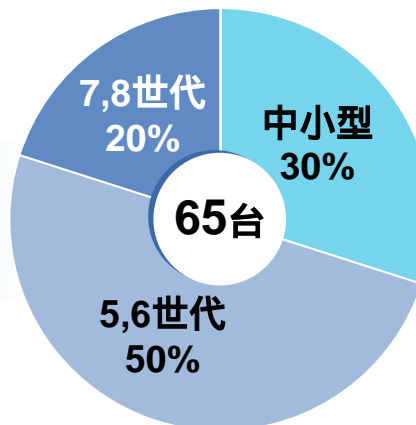
2008年
1,200億円



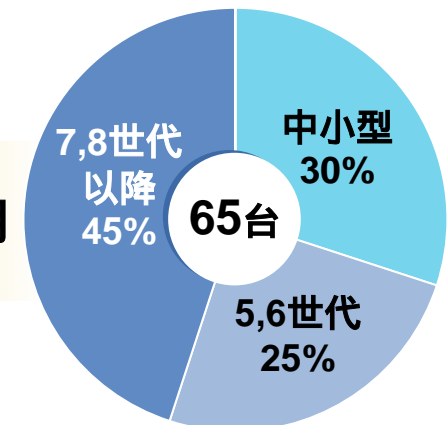
* 市場規模にはカラーフィルター用露光装置を含んでおりません。

当社見通し

06年3月期



09年3月期



精機カンパニー重点施策

ArF液浸のトップシェア確保

コスト競争力の強化

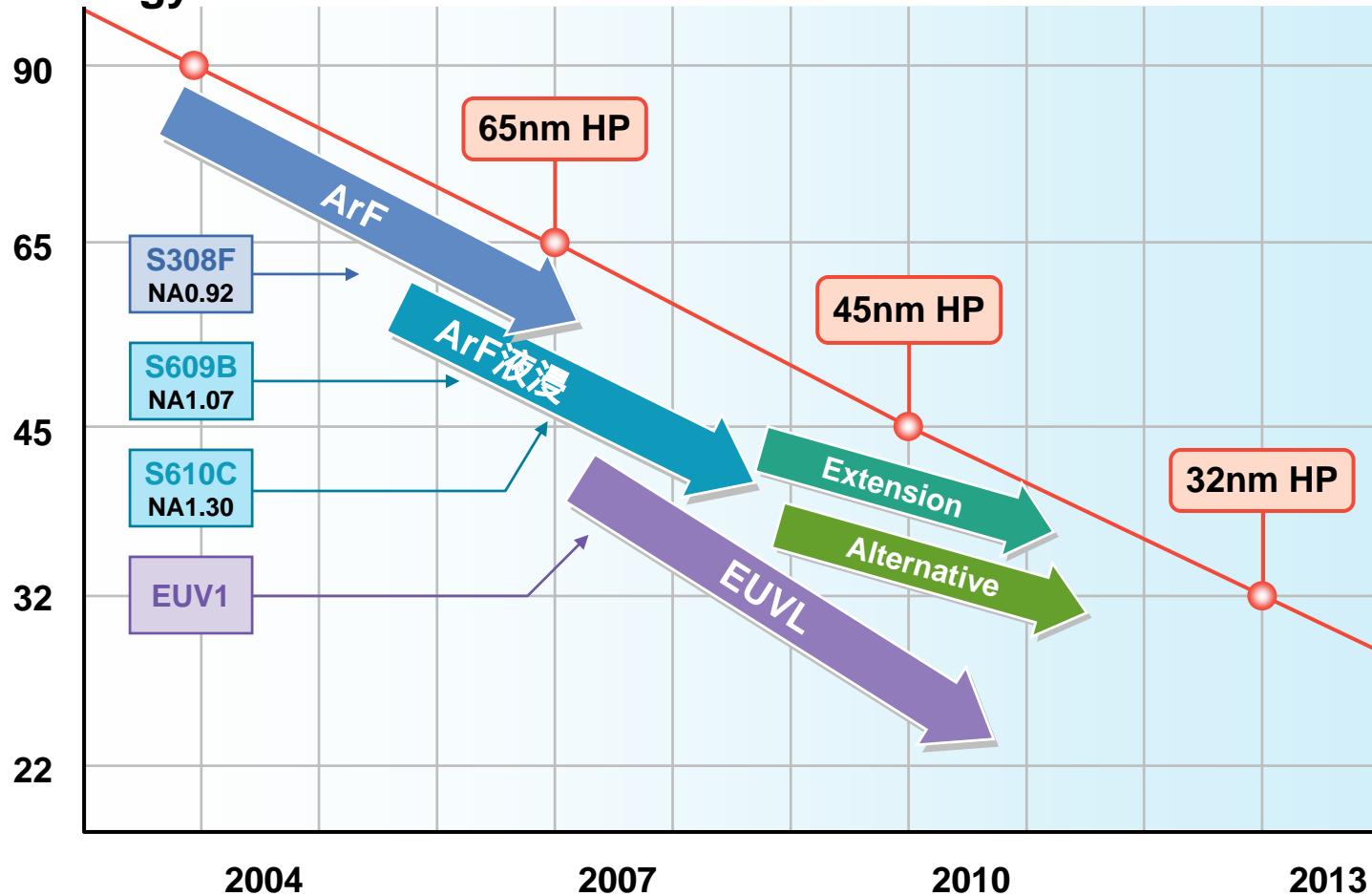
簡素化設計の継続
プラットフォーム共通化

大型LCD市場での更なるシェア拡大

半導体露光装置ロードマップ

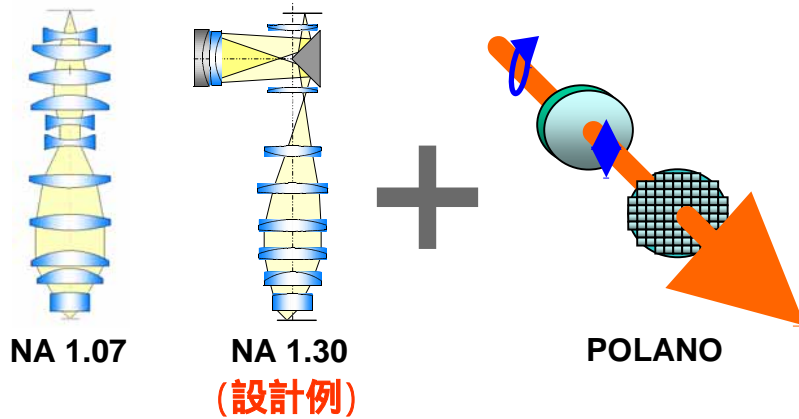
最先端技術で露光装置市場を牽引

Technology Node

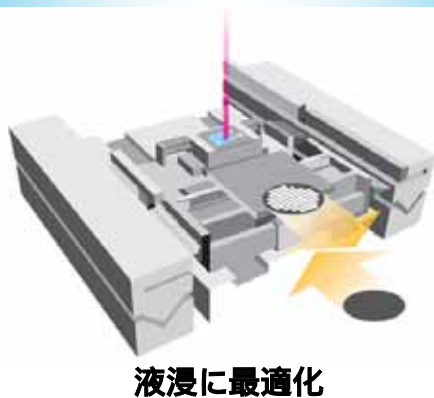


ArF液浸露光装置 技術戦略

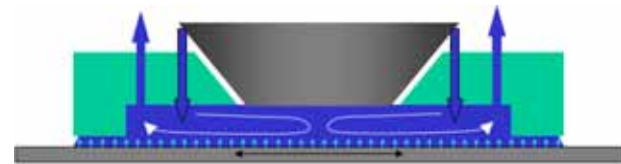
結像性能



タンデムステージ



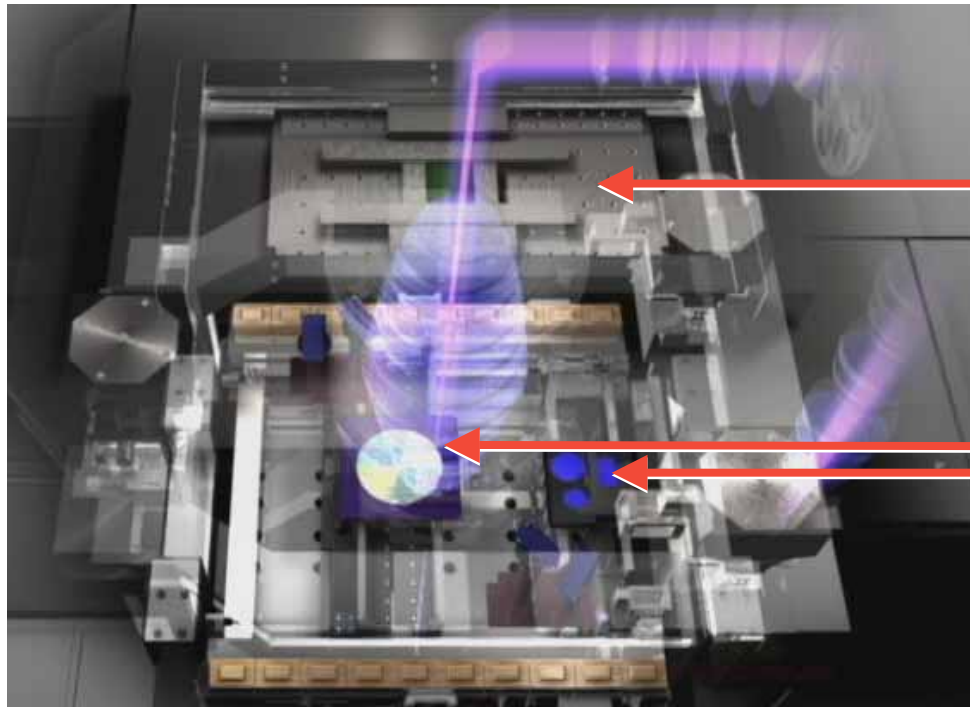
局所液浸技術



実証

- 欠陥を生じさせない
- 優れた重ね合わせ

プラットフォームの共通化と簡素化設計



レチクルステージ

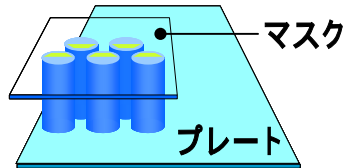
タンデムステージ

S609Bより採用された、タンデムステージとレチクルステージは、今後のスキャン機においてマイナーな変更だけで長期間の使用が可能

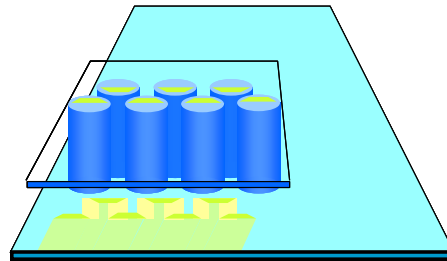
簡素化設計が適用されており、コストダウン、メンテナンスの容易性、ダウンタイムの短縮、アップグレードが可能等のメリットがある

LCD露光装置 技術戦略

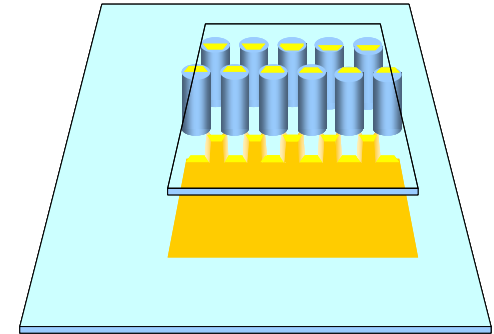
マルチレンズ方式



FX-22S
プレートサイズ: 730 x 920mm

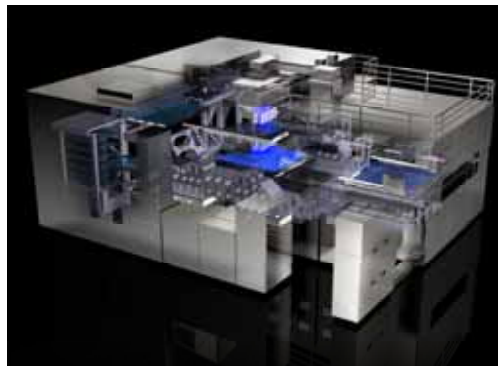


FX-53S/63S
プレートサイズ: 1500 x 1850

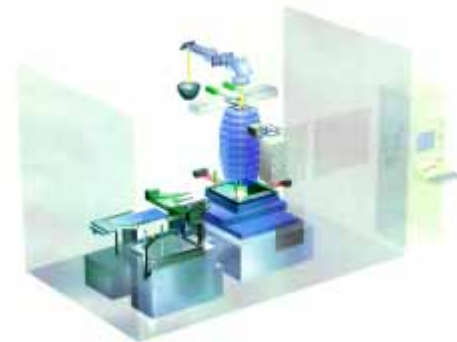


FX-71S/81S
プレートサイズ: 2200 x 2400

高速モデル



微細化対応モデル



映像カンパニー

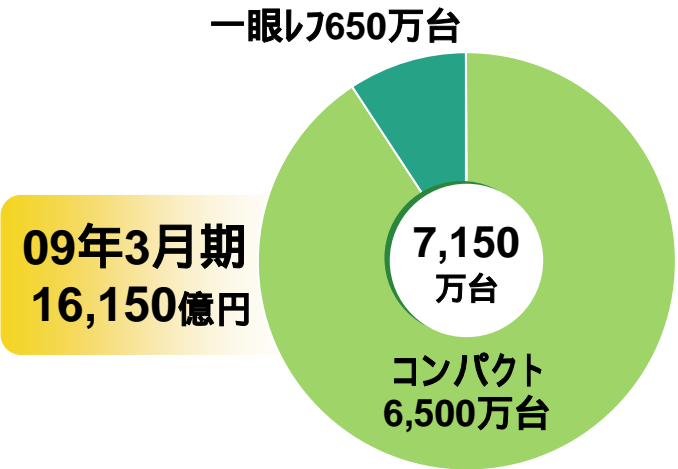
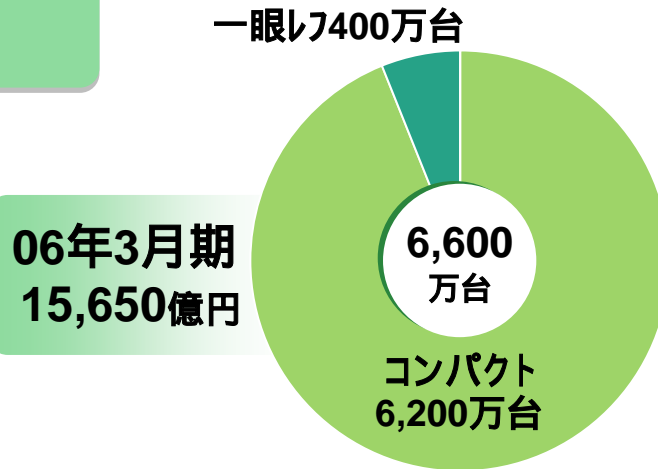
デジタル一眼レフシェア40%以上



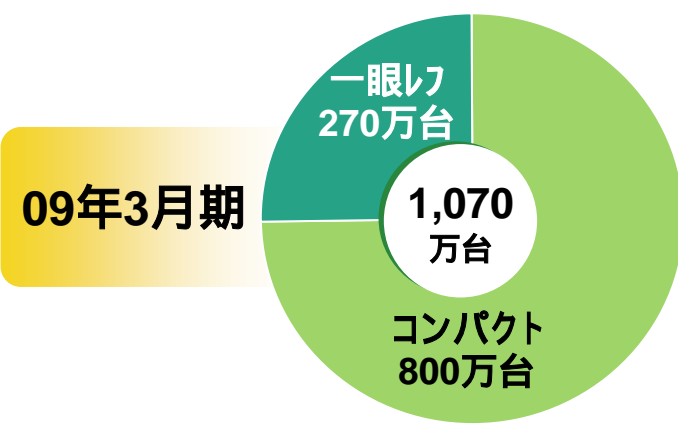
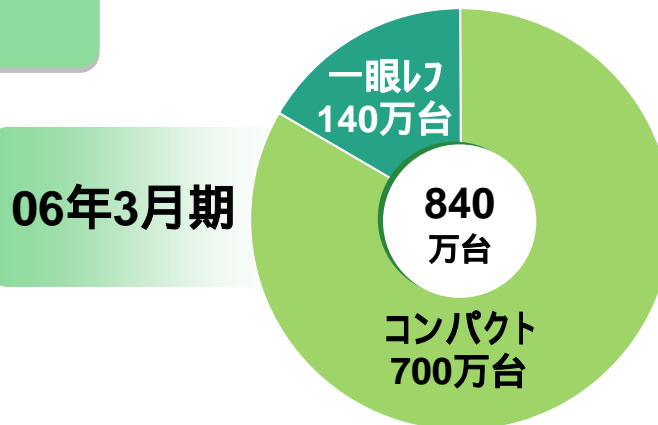
デジタルカメラ見通し(台数)

デジタル一眼レフ市場が拡大

市場規模
【ニコン予測】



当社見通し
(単体出荷)



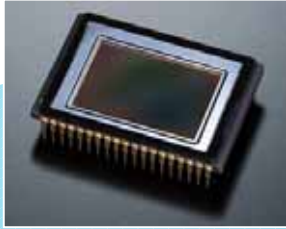
映像カンパニー重点施策

デジタル一眼レフのリーディングカンパニーとして
市場ポジションの堅持

コンパクトデジタルカメラの付加価値増大

ものづくり力の強化

映像カンパニーの技術



撮像素子



デジタルエンジン

デジタル画像技術

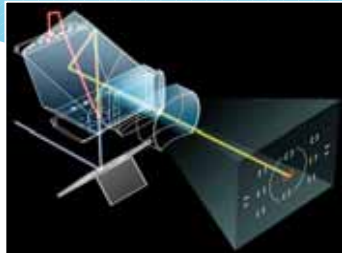


ソフトウェア



ワイヤレス通信

デジタルネットワーク技術



光センシング

光学技術

カメラ技術



レンズ技術



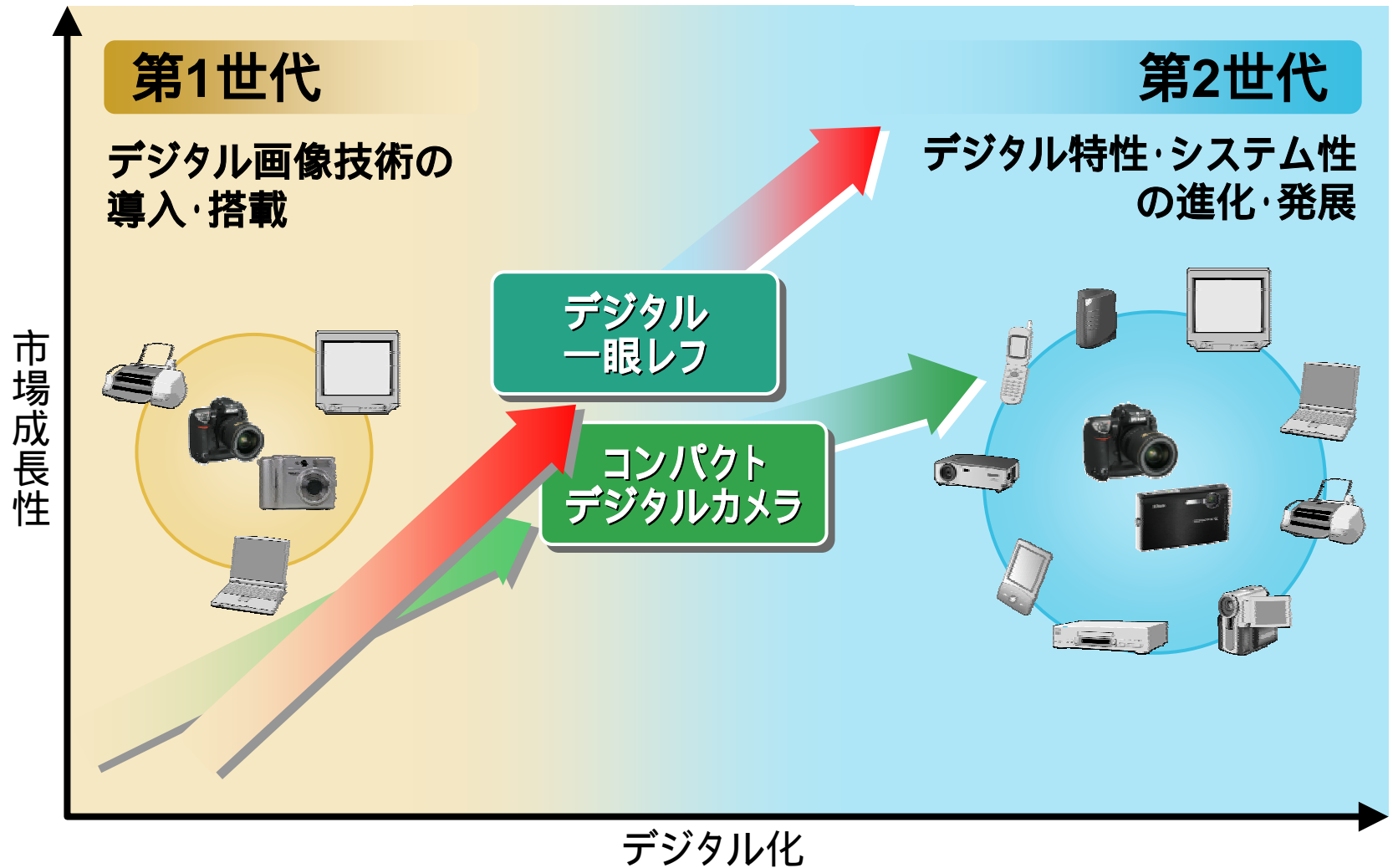
手ブレ補正機構



高密度回路実装

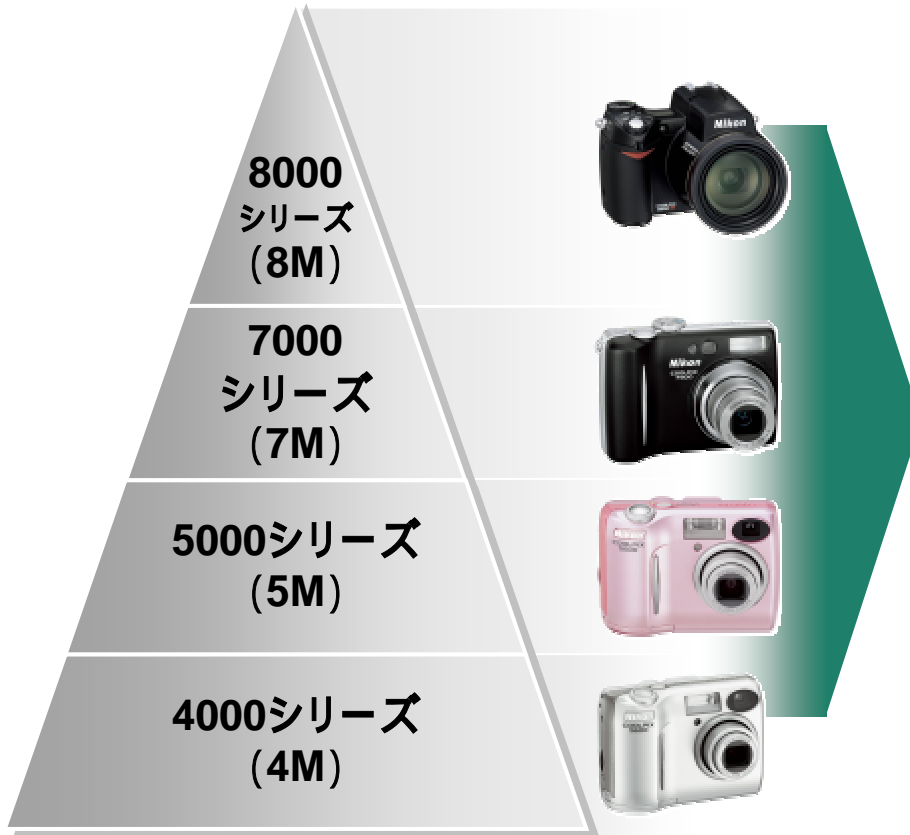
精密技術

第2世代のデジタルカメラ



コンパクトデジタルカメラの付加価値増大

COOLPIX (画素数)



COOLPIX (ニーズや撮影スタイル)

<p>Performance</p> <p>Pシリーズ</p>	
<p>Style</p> <p>Sシリーズ</p>	
<p>Life</p> <p>Lシリーズ</p>	

確立した一眼レフのイメージ + ➡ COOLPIXブランドのプレミアム化

ものづくり力の強化



Quality

- ひとに優しい、地球環境に優しい品質へ
- 国内エンジニアリングセンターの機能強化
- 技術・技能の伝承

Cost

- 生産リードタイムの短縮
- 徹底した棚卸削減
- 調達革新・物流改革によるQCD強化

Delivery

- 開発リードタイムの短縮
- CRMによる商品開発への反映
- アフターサービスの充実

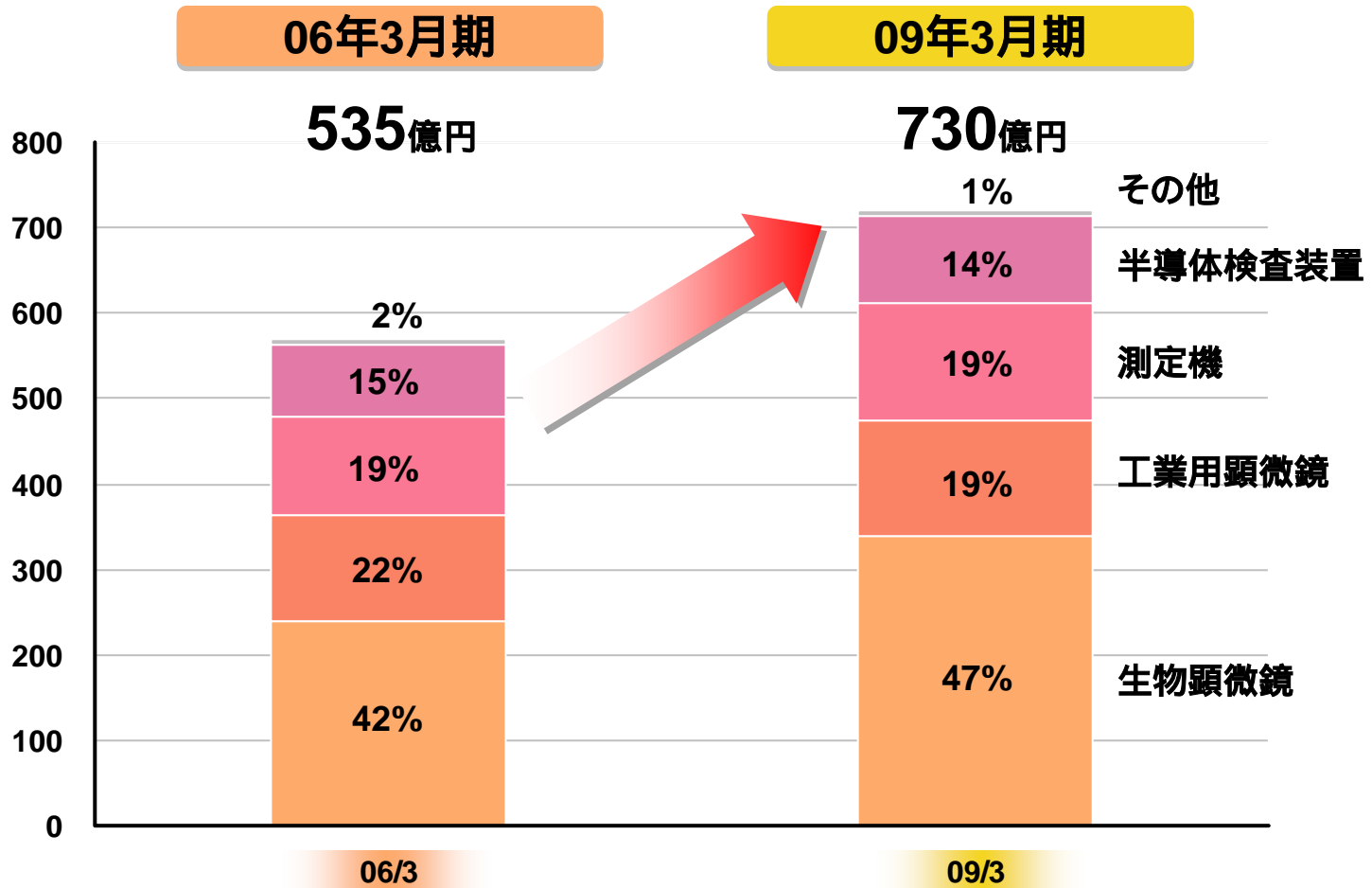
インストルメンツ カンパニー

ライブセル分野と非接触測定分野へ集中



インストルメンツカンパニー 売上高構成比

バイオサイエンス分野の収益拡大



インストルメンツカンパニー重点施策

バイオサイエンス

ライブセルイメージング分野でのソリューション
ビジネスの展開

産業機器

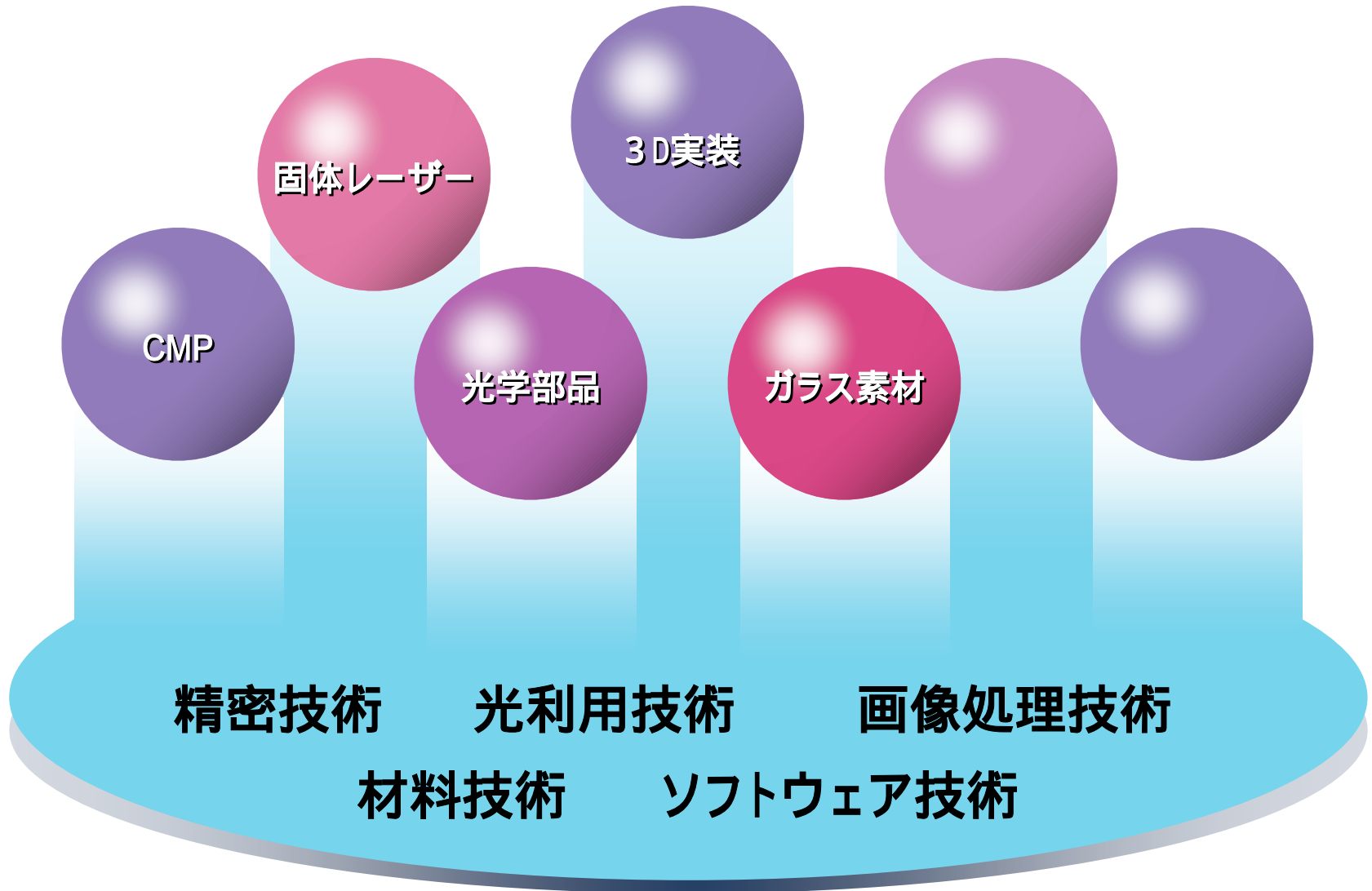
画像処理技術を用いた非接触式測定機の開発
自動マクロ装置のシリーズ化

製品開発

開発期間の30%短縮

新規事業

新規事業



新規事業

ガラス素材

産業用消費材の供給

固体レーザー

検査装置、新たな分野への展開

3D実装

IC微細化限界へのAlternativesの可能性

CMP

極微細化最適CMPの提供

光学部品

産業分野で新たに鍵となる各種光学素子

Agenda

- ・ 中期経営計画の概要
- ・ カンパニー別経営計画
- ・ **まとめ**

まとめ

主力製品のシェアと生産性の向上で
連結営業利益率10%、D/E30%以下を達成

継続的投資と研究開発に耐えうる**強いニコン**の実現

NEXT STAGE

売上高**1兆円** 営業利益率**10%以上**へ